

LGBTQ基本用語

かんたん解説ガイド



※チェックリストに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報はの資料等をご確認ください。

LGBTQの基本的な用語

LGBTQという言葉は、性的マイノリティの方々を表す包括的な用語として広く使われています。ビジネスの現場においては、性的マイノリティの方々が困難に直面することがあり、企業はハラスメント防止や制度の見直しが求められます。

頭文字	用語（英語）	説明
L	レズビアン（Lesbian）	ご自身を女性と認識し、恋愛や性的な関心の対象が女性である方。
G	ゲイ（Gay）	ご自身を男性と認識し、恋愛や性的な関心の対象が男性である方。
B	バイセクシュアル（Bisexual）	恋愛や性的な関心の対象が、男性と女性の両方に向く方
T	トランスジェンダー（Transgender）	生まれた時に割り当てられた性別と、ご自身が認識する性別（性自認）が異なる方。
Q	クィア（Queer） / クエスチョニング（Questioning）	クィア：従来の性別や性的指向の枠組みに当てはまらない、または当てはめたくないという立場。 クエスチョニング：ご自身の性自認や性的指向がまだ定まっていない、模索中である状態。

LGBTQ以外の用語

それぞれの用語の説明をより簡潔にまとめます。

用語（英語）	簡潔な説明
Xジェンダー（X Gender）	自身の性を男性・女性の二元的な枠組みに限定しない性のあり方。

用語（英語）	簡潔な説明
Aロマンティック（Aromantic）	他者に恋愛的な興味や関心を抱かないこと。
Aセクシュアル（Asexual）	他者に性的な興味や関心を抱かないこと。
パンセクシャル（Pansexual）	相手の性別に関わらず恋愛感情や性的関心を抱く可能性のある性的指向。

職場における配慮

職場において性的な言動はセクシュアルハラスメントにあたり、企業全体で防止に取り組む必要があります。

例えば、「彼氏／彼女はいるの？」といった発言も、不快に感じることがあります。

また、同性パートナーへの扶養手当や戸籍上の性別に関する書類提出など、既存の制度が不公平感を生む可能性も考慮し、見直しが求められます。

多様な性のあり方について基礎知識を学び、尊重する姿勢を持つことが重要です。

無意識の偏見や決めつけによる言動を避け、相手の性自認や性的指向を尊重したコミュニケーションを心がけましょう。

